



ヤギの ボディコンディションスコア

ボディコンディションスコア (BCS) とは、過肥や痩身といった家畜の健康状態を、すばやく簡単に示す指標で、1 (痩せすぎ) ~ 5 (太りすぎ) で評価します。5段階のスコアですが、BCS2とBCS3の間くらいの状態であれば、BCS2.5というように各スコアの中間の値を用いることもあります。単に外見から判断するのではなく、筋肉や脂肪の厚みを触って判断します。ヤギの場合は、表面の写真で示すように、BCS2からBCS4が適正値です。痩せすぎ (BCS1) のヤギは、栄養不足あるいは健康上の問題があり、生産性も減少する可能性があります。太りすぎ (BCS5) のヤギは、繁殖性の低下、難産の増加、健康上の問題を引き起こす恐れがあります。

BCSは一般的に、腰椎の棘突起と横突起 (右図参照) を覆う肉付き具合を触って判断します。腰部の棘突起と横突起の間隔を埋める筋肉あるいは脂肪に触れると、非常に痩せたヤギの場合には「ゴツゴツ」として、直接骨に触れているような感じがします。肉付きが良くなるにつれ厚みのある組織が骨を覆うようになり、丸く滑らかな感触になります。

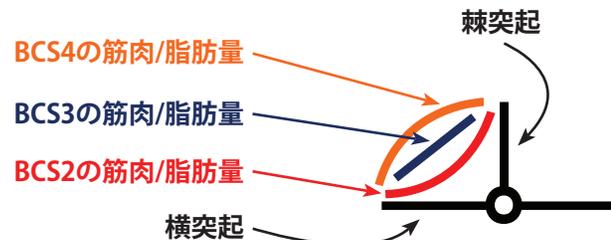
理想的なBCSスコア

雌ヤギ

繁殖期はBCS2.5~3.5、越冬前および出産前にはBCS3.0~3.5が望ましい (雌の場合、出産後の泌乳期間にはBCSが0.5程度低下しますが、子ヤギを離乳した後に適量のエサを給与すれば回復します)

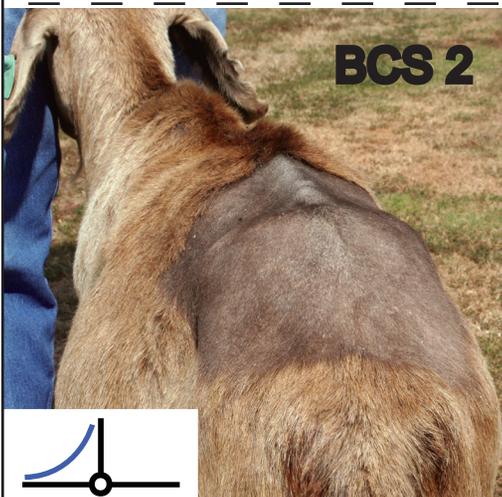
雄ヤギ

繁殖期前にBCS3.0~3.5であることが望ましい

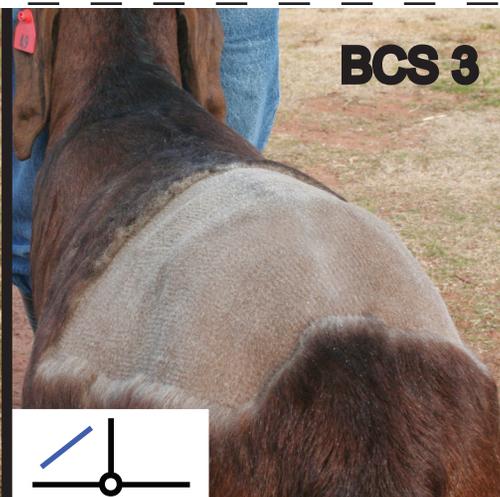


<http://www2.luresext.edu/goats/research/bcshowto.html>

The Cooperative Extension Program at Langston University provides educational programs to individuals regardless of race, color, national origin, religion, sex, age disability or status as a veteran. Issued in furtherance of Agricultural Extension Work Act of September 29, 1977, in cooperation with the U.S. Department of Agriculture.



BCS2 - 棘突起が隆起しているのがわかる。棘突起と横突起の間がくぼんでいる。筋肉と脂肪はわずかに感じる程度。骨の先端部が角ばっていて、脊椎のつなぎ目を感じるようであればBCSは1。



BCS3 - 棘突起が隆起しているようには感じないが、軽く触れて骨があることが解る。棘突起と横突起の間は筋肉と脂肪で満たされ、ほぼ平らかややくぼんでいる。



BCS4 - 脊髄に沿って棘突起を平滑に感じる。ひとつひとつの骨をはっきりとは感じない。棘突起と横突起の間は、筋肉と脂肪が詰まった感じで丸みを帯びている。骨が肉に埋まっていて、感じる事ができなければBCSは5。